

《新型コロナウイルス 対応ガイドライン》

【新郷南小学校版】



【新郷南小学校 新しい生活様式】

★原則マスク着用（原則各自で準備）★

★児童下校後に消毒（ペーパータオル使用）★

○教室：机、いす、黒板消し、水道の蛇口ハンドル、スイッチ、窓のクレセントなど

○トイレ：便座、ペーパーホルダー、ドア、スイッチなど

○特別教室：机、いす、道具器具類、黒板、スイッチなど

★児童・保護者への協力内容★

○健康観察カード、マスク、ハンカチ（タオル）、ティッシュ、水筒を忘れない

※マスクは状況に応じて外すのも可

※ハンカチは身に着ける

○ハンカチなどの貸し借りはしない

○ドアノブ、手すり、スイッチはできるだけ触らない

○風邪の症状など、体調がすぐれない場合は学校を休むこと

※自宅での休養や場合によっては医療機関の受診をすること

	児 童	担 任	備 考
事前		・ 出入り口ドアを外す ・ トイレの足あとマーク ・ 蛇口をビニールで覆う	
登校前	・ 健康観察カードの持参 ・ 水筒持参 ・ ハンカチ・ティッシュ持参 ・ マスク着用（忘れたり、落したりした場合は貸す） ・ 通学班で登校（1列でおしゃべりなし）	・ 水道は端の2つのみ使用 ・ 教室、廊下の窓開け（エアコン使用時も開ける） ・ マスクを忘れたり、落したりした児童は保健室へ	・ マスクは状況に応じて外すのも可
登校後	・ 手を洗う ・ 自分のハンカチで手をふく ・ アルコール消毒	・ 教室で待機 ・ アルコール消毒の準備 ・ 家庭用健康観察カードに押印	・ 忘れた児童は体温測定（体温計の消毒）
健康観察	・ 普段通りの健康観察	・ 健康観察簿を保健室前から持っていく（保健係でも可）	
嘔吐時	・ 嘔吐児童：保健室へ ⇒ 早退、保護者による引き取り ・ その他児童：別の部屋へ避難	・ 職員室に連絡 ・ 学年で協力して処理セットで処理 ・ 防護服を着用 ・ 教室の消毒もする	・ 職員室から児童を引き取りに行く⇒保健室へ
体調不調時	・ 風邪症状、37.0以上 ⇒ 保健室へ ・ 風邪症状、37.5以上 ⇒ 早退、保護者による引き取り教育相談室で待機	・ 職員室に連絡 ・ 児童の持ち物はまとめて保健室へ	・ 職員室から児童を引き取りに行く⇒保健室へ ・ 早退は教育相談室で待機

授業	・体調不良時は早めに言う ・話し合い、教え合いは控える ・物の貸し借りはしない ・共用の教具、情報機器を使用する際の前後は手洗い	・体調不良時は早めに申し出るよう指導 ・話し合い、教え合いは控える ・共用の教具、情報機器を使用する際の前後は手洗い指導	・音楽歌わない ・呼気を用いた楽器を使用しない
体育	・マスクは外す（着用も可） ・ソーシャルディスタンスは、大きくとる。 ・適宜水分補給（実施場所に水筒を持参）	・健康観察を丁寧に実施 ・持病がある児童は保護者に確認しておく ・ソーシャルディスタンスは大きく	
休み時間	・前後に手洗い ・水分補給（熱中症予防） ・マスク着用（はずすのも可） ・帽子の着用 ・ソーシャルディスタンスをとり活動 ・必要のない他の教室や他学年のフロアには行かない。	・水分補給をさせる ・屋外活動は帽子を着用させる ・激しい活動はさせない ・ソーシャルディスタンスの指導 ・必要のない他の教室や他学年のフロアには行かないよう指導	・活動場所の分散計画 ・手でつかむ遊具の使用禁止（鉄棒・ジャングルジム等）
トイレ	・足のマークに並ぶ。 ・トイレの手洗い ・自分のハンカチで手をふく。 ・教室でアルコール消毒	・足のマークの説明 ・慣れるまでトイレ前での指導。 ・アルコール消毒の準備	
給食	・手洗い ・アルコール消毒 ・給食当番は健康観察 ・給食着、マスク、手袋着用 ・食物アレルギーの児童は 1 番に配膳させる（対応がない日も） ・席は前向き（黒板が前） ・おしゃべりは控え、モグモグタイム ・お代わりは最小限 ・給食の交換・譲渡はしない ・各自で下膳 ・牛乳パックのリサイクルは停止（状況を見て再開）	・手洗い ・アルコール消毒の準備 ・給食当番の健康観察 ・エプロン・マスク、手袋着用 ・食物アレルギーの確認チェック ・密にならないよう配慮 ・会話を控えさせる ・教員がお代わりの配膳をする ・牛乳の飲み残しは配膳室へ ・牛乳パックはつぶさず、廃棄 ・パンなどの食べ残しも廃棄	・給食当番用健康観察簿 ・ペーパータオルは消毒用 ・給食配膳台の雑巾を準備
はみがき	・自分のコップに水を入れる ・自席で歯みがき ・コップの水をはねないように流す	・ソーシャルディスタンスの指導 ・密にならないよう配慮	・歯みがき粉使用しない ・流しにうがいで水を吐く位置の表示をする（テーブル等）

清掃	・ 前後に手洗い ・ 必要のないおしゃべりはしない（黙働清掃）	・ 短時間で ・ ソーシャルディスタンスの指導 ・ 流し掃除（使い捨て手袋使用） ・ トイレのドアの消毒（次亜塩素酸ナトリウム希釈液を使用）	・ 流しの清掃は、下校後でも可 ・ 流し掃除は教員
下校	・ 寄り道をしない ・ おしゃべりは控える	・ 速やかに下校させる ・ 教室、トイレの消毒（次亜塩素酸ナトリウム希釈液を使用）	・ 次亜塩素酸ナトリウム希釈液、ペーパータオル、手袋
保健室	・ アルコール消毒	・ 外科的、内科的来室者の出入り口を分け	・ 教育相談室を活用

【体育的活動を行う際の留意事項】

- ① 3密の回避(密閉・密集・密接) ・ 人と人との距離→2 m以上（ポイントをうちます）
- ② できるだけ一方通行で行えるもの
- ③ 一度に行う人数を少なくする⇒1 クラス人数が多い場合は何グループかに分けて間隔をとって行う
- ④ ルールを簡単にする⇒とまどいがなくスムーズに児童が行える(運動時間の確保)
- ⑤ 人と人との接触がない ※教師と児童も
- ⑥ 用具の共有はできるだけ避け、難しい場合は使用後に必ず消毒
- ⑦ ボールのパスは相手と十分な距離をとればしてもよい
- ⑧ 児童の体調が良好である(・ 平熱である ・ 咳、のどの痛みなどの症状がない ・ 嗅覚と味覚が正常)
- ⑨ マスクは着用しなくてもよい
- ⑩ 体育館を使用する場合は、扉を閉めず、窓を開け換気を必ずする。(朝に体育部が空けておく)
- ⑪ お互いに見合う場合は、相手との間隔を十分にとる
- ⑫ 必要に応じて、水分補給の時間をとる
- ⑬ 授業の開始前は手洗を、終了後には手洗い・うがいをさせる。

【体育授業におけるマスクの着用・熱中症対策について】

マスク着用下の運動においては、十分な呼吸ができなくなるリスクや熱中症になるリスクが指摘されています。これから気温が高くなっていきますので、体育授業におけるマスクの着用、また熱中症対策については以下の点に注意してください。

【マスクの着用について】

- マスクは外してもよいという指導をする。ただし、運動量が多いもののときは、担任の指示で外させることも必要。児童がマスクの着用を求めてきたときには、熱中症のリスクがあることを十分に説明し、着用させるマスクは医療・産業用ではなく、家庭用マスクにさせる。
- マスクの着用に関係なく、児童同士の間隔は2 m以上確保する。
(校庭に2 mずつのポイントを打ちましたので、間隔の参考にしてください)
また、ランニングなどで同じ方向に動く際はさらに長い距離を確保する。
- マスクを着用して運動をしている児童で、呼吸が苦しい様子が見られたときには、必要に応じてマスクを外させ、他の児童を2 m以上確保して休憩させる。

○マスクの着用に関係なく、密をさけるため全体での集合はできるだけ少なくし、授業のふりかえりやまとめは児童の呼吸が整ってから行う。

【熱中症対策について】

○細めに水分補給の時間をつくる。

○授業中、常に児童の健康管理をする。

○児童が心身に不調を感じたら、申し出て休むように習慣づける。

○長時間の直射日光を避ける。

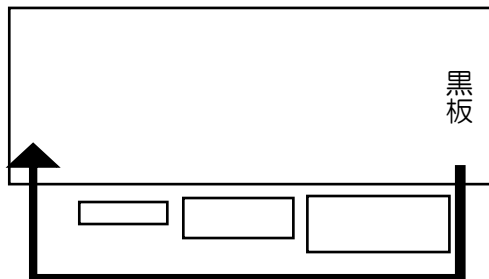
【給食についての確認事項】

○準備

- ・3時間目が始まる前までに配膳台を廊下に準備し、アルコール消毒をしておく
配膳台カバーは必ず毎週末洗濯する
- ・窓を開けて換気をする
- ・机は前向きまたはテスト隊形
- ・ランチョンマットを各自敷く
- ・教員もマスク、三角巾、エプロンを必ず着用
- ・当番から順に手洗い→アルコール
- ・マスクを必ず全員つける
- ・給食当番は必ず健康観察をする
- ・当番は髪の毛を帽子に入れる

○配膳

- ・廊下でおこなう



- ・配膳は教員を中心におこなう
- ・アレルギー児童は先に配膳させる（対応がない日でも毎日）
- ・牛乳、パン、麺、ストロー、スプーン、ゼリーなどは手袋をつけた当番が渡す

○食事中

- ・「いただきます」を言ってからマスクを外す
- ・児童同士による交換・譲渡はしない
- ・おしゃべりはしないでもぐもぐタイム
- ・おかわりの配膳は教員がおこなう（おかわりを希望する児童の元まで持って行く）
- ・不必要な立ち歩きはさせない

○片づけ

- ・食べ終わったらすぐにマスクをつける
- ・牛乳パックはゴミ袋へ（リサイクルはなし）
- ・食べ終わったらマスクをつけて静かに席で座って待つ

- 「ごちそうさま」は一斉に行い、自分の食器は自分で片づける
- 空のコップを持って行き、片付けが終わった児童からコップに水を入れて席に戻り座って
歯磨きをする
- ※このときも配膳の時のように一方通行を守る
- 配膳室に持って行く時間をわける（必ず学年で一人教員が配膳室まで連れて行く）
- 一方通行 西階段を下り専用、東階段を上り専用とする
- 汁の飛ばないおかずは児童が自分で各缶に戻す
- スープや牛乳、汁気の多いおかずは担任が食缶に戻す（低学年）
- ゴミ袋の口は必ずしばって持ってくる

○嘔吐した子がいる場合

- 給食中の場合…嘔吐した子以外は別室に移動し、その他の児童は残った給食は基本食べない
片付けは教員で行う
- 片付け中の場合…嘔吐した子以外は別室に移動し、残りの片づけは教員で行う
- 嘔吐物がかかってしまった食器は 15 分以上ハイターに付け消毒し、次の日に他の食器と別
にして袋に入れてセンターに返す（保健室）